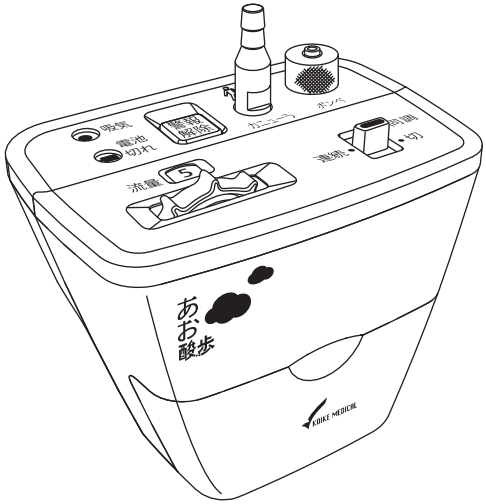
人とともに呼吸する。
KOIKE MEDICAL

呼吸同調式レギュレータセット
酸素ボンベ用

あお酸歩



認証番号 301AHBZX00012000

あお酸歩セパ
取扱説明書

本製品をご利用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、内容を理解された上で、ご利用ください。

Bluetooth®

はじめに

この取扱説明書は、呼吸同調式レギュレータ「あお酸歩セパ」を安全に、正しくお使いいただくためのガイドブックです。
「あお酸歩セパ」は、医師の指示に従って酸素吸入を行うための装置です。当製品をご使用いただく前に、必ず本書を読み、取り付けおよび操作の方法のほか、点検・整備など十分理解された上で、ご使用くださりますようお願い致します。

作動原理

患者さんの吸気圧を感知し、吸気時に流量設定ダイヤルで設定した一定流量の酸素を供給し、呼気時には酸素を放出しません。そのため、少ない酸素で連続流量の場合と同等の効果が得られます。

もくじ

■安全にお使いいただくために／安全の表示 …… 2
■使用上の注意 …… 3
■構成品 …… 4
■仕様と性能 …… 5
■各部のなまえ …… 6
■使用方法／電池を入れる …… 7
・酸素ボンベと接続する …… 8～9
・吸入を始める …… 10
・吸入をやめる …… 11
・酸素ボンベから取り外す …… 11
■アラームとランプ …… 12
■酸素残量を確かめる …… 13
■酸素の漏れを確かめる …… 13
■お手入れ／日常点検 …… 14
定期点検 …… 15
■故障かな？と思ったら …… 16～17
■消耗部品／推奨部品 …… 18
■本体に表示されている記号について …… 19
■保証 …… 20
■廃棄について …… 20
■保守点検チェックシート …… 21

安全にお使いいただくために／安全の表示

◆本書中のマーク説明

表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	死亡または重傷を負う切迫した危険状態になる場合があります。
⚠ 警告	死亡または重傷を負う可能性がある危険状態になる場合があります。
⚠ 注意	傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
	この絵表示は、してはいけない禁止内容です。
	この絵表示は、必ず指示に従って実行していただくための内容です。

使用上の注意

表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

シールを綺麗に剥がしてください

新しい酸素ボンベのバルブにはシールが付いています。シールをしたまま本器を付けると、圧力で思わぬ事故をまねき危険です。

⚠ 注意



火気は近づけないでください

火に近づけると危険です。
２メートル以内に、発火性のものを置かないでください。



直射日光、高温、ほこりをさけてください

内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。



油脂類は付着させないでください

調理台のそばなど、油とびするような場所に置かないでください。火災・感電の原因になることがあります。



水、湿気はさけてください

故障や感電の原因となることがあります。



落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください

落下してけがをしたり、故障の原因となることがあります。



⚠ 警告

自分で分解および改造したりしないこと

不完全な修理、部品の交換は正常な機能や安全を保てなくなります。



酸素を残留させないでください

カニューラや供給チューブをベッドや布張りの椅子、その他繊維上に置いたままにしますと、器具からの残留酸素が繊維に染込み、不用意に近づけた火気により発火燃焼し、火災に至る危険があります。



- 必ず医師の指示、処方に従ってください
- 指示者以外の人に触れさせないでください
- 加湿器は使わないでください
- 狭い場所や密閉された室内では、換気が必要です
- カニューラチューブの長さは、3 メートル以内で使用してください
- 必ず酸素ボンベに接続して使用してください
- 適合しない酸素ボンベは使わないでください
- 使用環境の機器が誤動作する場合は使わないでください

構成品

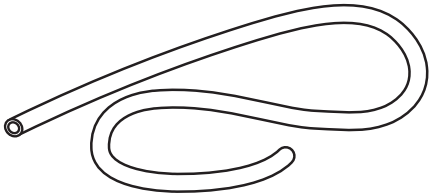
・本体（1台）



・単3形アルカリ乾電池（2本）



・接続チューブ



・取扱説明書
・添付文書

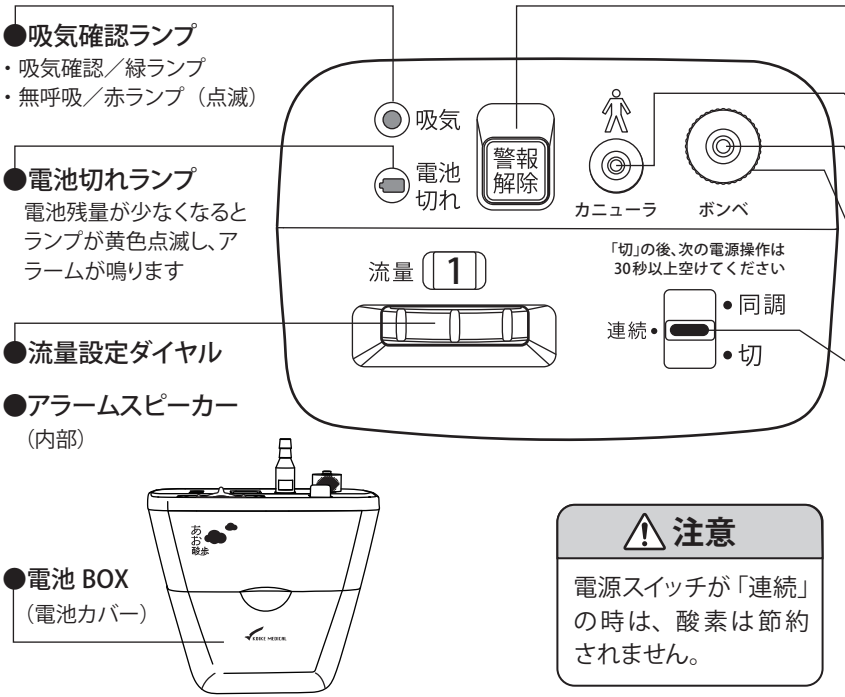


仕様と性能

一般的名称	呼吸同調式レギュレータセット
販売名	あお酸歩セパ
認証番号	301AHBZX00012000
形式	ＢＴ１２
使用ガス	医療用酸素
流量設定目盛	同調流量　0.5/0.75/1/1.5/2/2.5/3/3.5/4/5/6/7　［L/min 相当］ 連続流量　0.5/0.75/1/1.5/2/2.5/3/3.5/4/5/6/7　［L/min］
呼吸同調回数	最大 60 回 / 分
電源電圧	単 3 形アルカリ乾電池 2 本
電撃に対する保護の形式	内部電源機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類	Ｂ形装着部
電池持ち時間	同調 500 時間使用可能･･･時間は参考値で、一定条件下の試験データ （単 3 形アルカリ乾電池使用、処方流量設定 2L/min、呼吸回数 20 回 / 分）
重量	約 325g（電池含む）
寸法	高さ 91mm× 幅 106mm× 奥行 72mm(凸部を除く本体)
酸素入口圧力、流量	0.15MPa、10L/min
内部残圧	残圧の自動放出（電源スイッチ「同調」→「切」時）
内部データ出力	Bluetooth 内蔵
使用環境条件	周囲温度 0℃～ 40℃、相対湿度 85%以下、結露なし気圧：90kPa ～ 106kPa
輸送･保管環境条件	周囲温度 -10℃～ 60℃、相対湿度 85%以下、雨水、水滴がかからず、 かつ結露等のない場所、気圧：80kPa ～ 106kPa

●管理医療機器

各部のなまえ



●吸気確認ランプ
- 吸気確認／緑ランプ
- 無呼吸／赤ランプ（点滅）

●電池切れランプ
電池残量が少なくなるとランプが黄色点滅し、アラームが鳴ります

●流量設定ダイヤル

●アラームスピーカー
（内部）

●電池 BOX
（電池カバー）

●警報解除ボタン
電池消耗時のアラーム音を止める時に押します

●カニューラ接続口（酸素の出口）
カニューラがB形装着部になります

●酸素供給口（チューブ接続口）

●袋ナット

●電源スイッチ
電源の「切」および「同調」「連続」の切り替えに使います。
- 同調／電源が入り、呼吸に同調して酸素を供給します。
- 連続／電源が入り、連続的に酸素を供給します。電池切れ時などにご使用ください。

⚠ 注意
電源スイッチが「連続」の時は、酸素は節約されません。

使用方法／電池を入れる

電池の交換は、本体の電源を必ず切ってから行ってください。

⚠ 注意

- ●電池のプラス（＋）、マイナス（－）をよく確認してセットしてください。
- ●電池を廃棄処分する時は、一般のゴミと一緒にしないでください。
- ●長期間使わない時は、電池を取り外してください。腐食した電池がサビ等をおこし、故障の原因となります。

※詳しくは市販のアルカリ乾電池の注意書をよく読んでご使用ください。

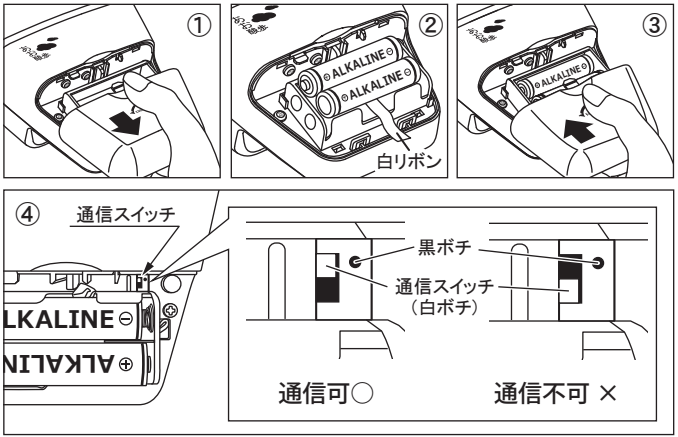
- ●電池カバーを外すと、通信切替用のスイッチがあります。絶対に操作しないでください。
  内部データが送信できなくなります。

①電池カバーの中央部の凹み部分を押しながら、下側に引き出します。

②電池の向きを間違えないように、単3形アルカリ乾電池2本を注意してセットします。（交換は2本同時に、新しい同種のものをお使いください。白いリボンを引っ張ると、簡単に電池を取り外すことができます。）

③電池カバーのつめを合わせてパチッと音がするまで押し込みます。

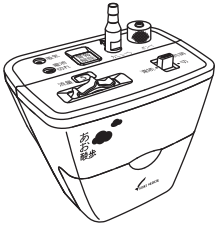
④電池BOX内部に通信スイッチがあります。通信スイッチは、上側にすると通信可（右図：白ボチが黒ボチに一致）、下側にすると　通信不可になります。（左図：白ボチが黒ボチに不一致）



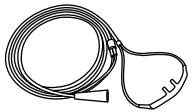
使用方法／酸素ボンベと接続する

準備するもの

・あお酸歩セパ：本体



・カニューラ（1本）



・接続チューブ（1本）



・単3形アルカリ乾電池

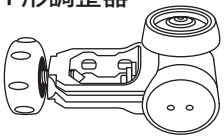
（2本／「電池を入れる」を参考に、電池をセットしておいてください）



・酸素ボンベ



・Y形調整器



1. 酸素ボンベの準備

①セットする前に、酸素ボンベのシールを綺麗に剥がしてください。

⚠ 注意	シールをしたまま本器を付けると、圧力で思わぬ事故をまねき、危険です。

②2～3回空吹きをしてください。
（酸素の出口のチリやゴミを吹き飛ばすため。）

③Y形調整器のボドックシールが正しく取り付けられていることを確認し てください。

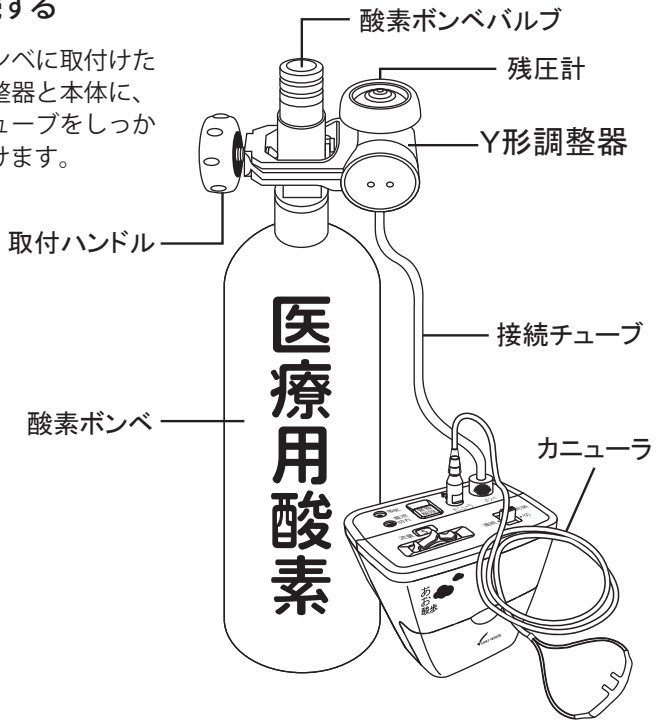
④Y形調整器の「ガイドピン」を酸素ボンベバルブの「位置決め穴」に差し込んでください。

⑤Y形調整器の取付ハンドルを回して、しっかり接続してください。



2. 接続する

酸素ボンベに取付けたY形調整器と本体に、接続チューブをしっかり取付けます。



⚠ 注意

- ●調整器は、専用のものをご使用ください。調整器、本体を取り付けるときは、必ず酸素容器のバルブを全閉にして行ってください。
- ●酸素供給時は、口金の放出口を顔や身体に向けないでください。
- ●締付けは、しっかり行ってください。弱いと、酸素漏れなどの原因になります。
- ●Y形調整器および本器の接続時または使用中、指定の圧力を超えた場合またはガス漏れが発生した場合は、直ちに酸素ボンベのバルブを閉め、使用を中止し、指定の連絡先に連絡して指示に従ってください。(重大な事故につながることがあります)

使用方法／吸入を始める

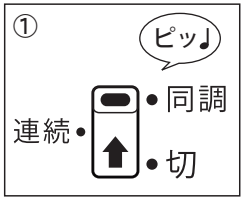
⚠ 注意

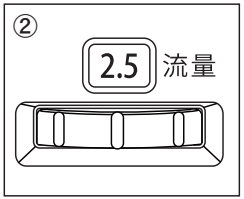
- ●起動後約 1 分間の各ランプの不規則点滅は異常ではありません。準備時間です。
- ●ご使用中に赤ランプが点滅しアラームが鳴った場合には、本器の警報システムの作動を示します。慌てず点滅ランプの表示を確認の上、「アラームとランプ」を参照してください。
- ●正常に作動しない場合は、「故障かな？」を参照し、ご確認ください。
- ●電源を同調に入れた後 30 秒以上酸素を使わずに放置すると、「吸気ランプ」が赤く点滅し、ピーピーとアラームが鳴ります。酸素吸入を始めると正常に戻ります。

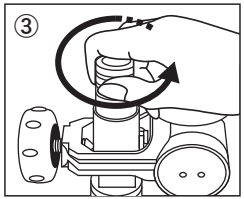
①本体の電源スイッチを「同調」にしてください。ピッと音が鳴ります。
②本体の「流量調整ダイヤル」を処方の数字に合わせてください。
③酸素ボンベのバルブを、ゆっくり反時計回り（左回転）にして、全開にしてください。
④カニューラを装着し、鼻から呼吸をして酸素が出ていることを確認してください。
⑤吸入を始めると「吸気ランプ」が、吸気に合わせて点滅します。（緑ランプ）
⑥呼吸にうまく同調しない時、電池切れ時等は「連続」にして酸素吸入をしてください。

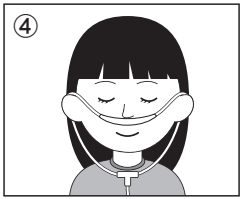
⚠ 危険

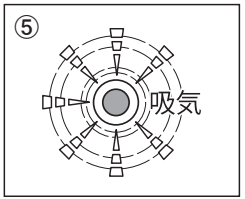
酸素濃度が高くなると物質の燃焼性が著しく増加します。換気・通風を十分行ってください。





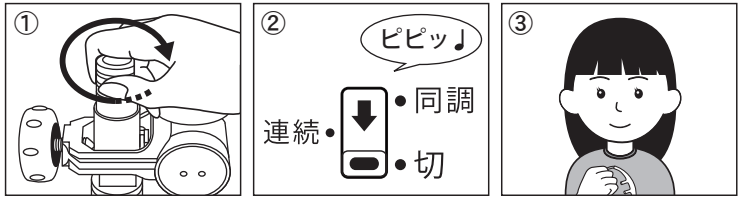






使用方法／吸入をやめる

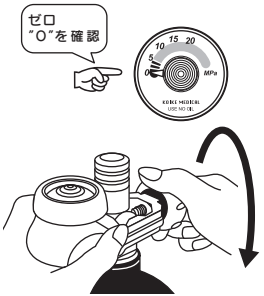
①酸素ボンベのバルブを時計回り（右回転）にして、しっかり閉じてください。
②本体の電源を「切」にしてください。吸入が止まり、ピピッと音がして残ガスを放出します。
③カニューラを外します。



●再度スイッチを入れる
"切"にしてから、"連続""同調"に再度スイッチを入れるまでは、30秒以上空けてからお使いください。

使用方法／酸素ボンベから取り外す

①酸素ボンベのバルブを時計回り（右回転）にして、しっかり閉じてください。
②本体の電源スイッチを「同調」でご使用された場合は、電源スイッチを「切」にすると同時に、内部の酸素ガスが自動的に放出されます。
③カニューラから酸素ガスが出なくなったのを確認してください。
④本体からカニューラを取り外してください。
⑤Y形調整器の残圧計が「ゼロ」になっているのを確認してください。
⑥Y形調整器の取付ハンドルを左側に回して、取り外してください。



⚠危険
酸素ボンベのバルブが閉じていない時は、Y型調整器を酸素ボンベから外すことができません。

⚠警告
使用していない時は、本体から酸素が完全に出なくなったことを確認してから、酸素容器より取り外して保管してください。

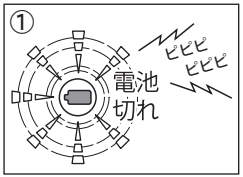
アラームとランプ

本器には安全装置として、電池切れや吸気が確認できない時や、バルブなどが故障した時に、アラームとランプでお知らせする機能が付いています。

⚠ 注意

警報解除スイッチでアラーム音を消音しても電池残量が不足していた場合、５分後にアラーム音が再開します。また、警報中に電池電圧が下がった場合は、吸気確認ランプが点灯、一切の動作を停止することがあります。そのような時は、電源スイッチを「切」にしてください。

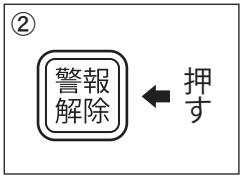
①電池が消耗した時



１時間以内に交換する必要がある場合、「ピピピ ピピピ…」というアラームと同時に、電池切れランプが黄色点滅します。

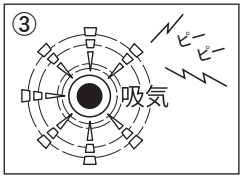
処置：新しい単３形アルカリ乾電池と交換する。

②電池消耗時、アラームを止める



警報解除ボタンを押すと、アラーム音が一時的に止まります。

③吸気が確認できない時



「ピーピーピー…」というアラームと同時に「吸気ランプ」が赤く点滅します。
アラーム音は警報解除ボタンを押しても解除しません。

処置：鼻カニューラが一時的に折れ曲がったり、つぶれたりしていないか確認し、正しく装着してください。鼻から酸素を吸っているか、口で呼吸していないか確認し、鼻腔に正しく装着して、鼻から息を吸ってください。電源スイッチが「同調」になっているか確認してください。吸気を確認すると、吸気ランプが緑にかわり吸気に合わせて点滅します。上記の処置が不可の場合、電源スイッチを「連続」にしてください。酸素を連続的に供給します。

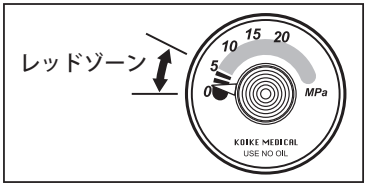
⚠ 注意

電源スイッチが「連続」の時は、酸素は節約されません。

使用方法／酸素残量を確かめる

酸素ボンベ内の酸素の残量は、Y形調整器の残圧計で確認してください。
針がレッドゾーンに入ったら、ボンベを交換してください。

> 酸素ボンベの手配と交換は早めに行ってください。

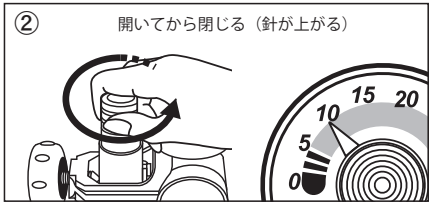


酸素の漏れを確かめる

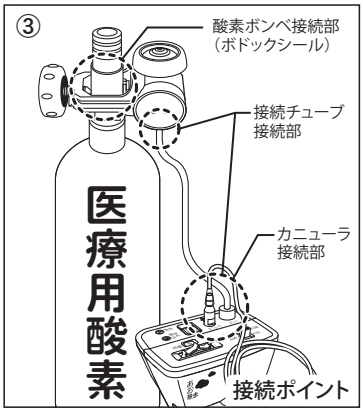
カニューラ、ボドックシール、接続チューブは消耗品です。
早めの交換(新品)をおすすめします。

①電源スイッチを「切」にしてください。
②酸素ボンベのバルブをゆっくり全開にし、その後閉じてください。
③もし残圧計の針が下がるようであれば、再度カニューラまたは接続チューブの接続をするか、新品に交換してください。









お手入れ／日常点検

⚠警告	安全および性能を維持するために、保守・点検は必ず行ってください。 保守・点検を怠りますと、重大な事故につながることがあります。

日常点検　**原則として1日1回ご使用前に行ってください。**

1．カニューラのお手入れ

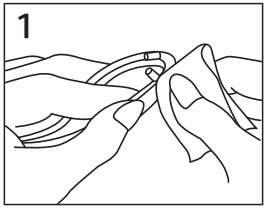
①消毒用アルコールで拭いて常に清潔を保つようにしてください。
②必要に応じて新しいものに交換してください。
　ひどく折れたり、汚れたりした場合には、本器が正常に作動しない場合があります。

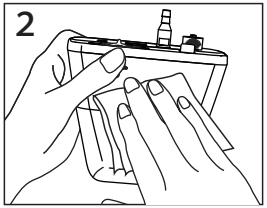
2．本器のお手入れ

①ホコリなどで汚れた場合は、乾いた柔らかい布でやさしく拭いてください。
　※水、湯、洗剤、ぬれた布などで拭かないでください。
　※ご使用にならない時は、電池を取り外してください。
②P-21の保守点検チェックシートに従って、点検してください。

3．酸素ボンベなどの交換について

①予備の酸素ボンベは前もってお買い上げの販売店、または最寄の酸素ボンベ納入業者に連絡して、常備することをおすすめします。
②「酸素ボンベの交換」に従って交換してください。







定期点検

定期点検

●製造後長期間ご使用になりますと、スイッチ類の作動部分、機内の作動部に劣化がおこります。
少なくとも６ヵ月に１回定期点検を行ってください。
●定期点検は、お買い求めの販売店を通して当社に依頼されることをおすすめします。

⚠警告	不完全な点検・修理・調整は危険です。 保守・点検および修理・調整の場合は、必ずお買い求めの販売店を通して、または直接当社にご依頼ください。

故障かな？と思ったら

■本器の軽度のトラブルについての確認方法と処置方法です

●次の項目を参考にして点検を行ってください。

●記載されている処置を行っても通常の状態に戻らない場合は、お買い上げの販売店または最寄の弊社営業所にご依頼ください。

症　状	確　認	処　置
酸素がまったくでない	○酸素ボンベが空になっていないか	○販売店に連絡し、交換を依頼する フル充填の酸素ボンベに交換する
	○酸素ボンベのバルブは開いているか	○バルブをゆっくり開く
	○電源スイッチは同調になっているか	○電源スイッチを「同調」に入れる
	○カニューラが正常についているか またはチューブが折れ曲がっていないか	○「カニューラ」側（出口）にカニューラをしっかり差し込む。 カニューラチューブが折れたり、つぶれたりして閉塞しないようにする
	○酸素ボンベ取付部などからの漏れはないか	○「酸素の漏れを確かめる」で漏れを確認し、「酸素ボンベと接続する」を参照し、接続し直す
	○ダイヤルがきちんと設定されていない	○ダイヤル目盛が設定値に合うように合わせる ダイヤル目盛を数値の間に合わせると、正確な処方流量が得られません
	○酸素ボンベの封印シールがきれいに剥がれていない	○封印シールをきれいに剥がす
	○圧力計が不正確である（針上がりなど）	○使用を中止して修理を依頼する
	○電源スイッチの位置は正常か	○電源スイッチは「切」と「連続」の間、または「連続」と「同調」の間に設定しないこと
酸素流量が少ない	○酸素の流量は医師の処方どおりか	○処方流量を合わせる
	○カニューラが正常についているか（折れ曲がっていないか、接続部からの漏れはないか）	○カニューラを点検し、正しく装着する
	○酸素ボンベ取付部などからの漏れはないか	○「酸素の漏れを確かめる」で漏れを確認し、「酸素ボンベと接続する」を参照し、接続し直す。

症　状	確　認	
酸素流量が少ない	○酸素ボンベ取付部などからの漏れはないか	○ボドックシールが原因でない場合は、ガスの噴出口が高温になる恐れがありますので、手や顔を近づけないこと。よく換気をしたうえで、販売店に連絡する
呼吸に合わせて酸素が出ない	○カニューラが一時的に折れたり、つぶれたりしていないか	○カニューラが折れたり、つぶれたりしないように正しく装着する
	○カニューラが正常についているか	○カニューラを点検し、正しく装着する
	○口で呼吸していないか	○鼻カニューラの位置を確認する。 ○口から呼吸しない　○同調設定にする ○しばらく安静にして、鼻から息をするようにする
電源が入らない	○電池が入っていない	○電池を入れる　○電池寿命のため交換する
	○＋（プラス）・－（マイナス）が反対になっていないか	○＋（プラス）・－（マイナス）を正しく入れなおす
	○「切」にしてから 30 秒以内に再度スイッチを入れたか	○再度スイッチを入れる時は30秒以上空ける
酸素が連続して出てしまう	○電源スイッチが「連続」側に入っていないか	○電源スイッチを「同調」側に入れる
	○「切」にしてから、5 秒以内に電池を交換したか	○電池を交換する時は、5秒以上空ける 再度スイッチを入れれば復帰します
呼吸していないのに酸素が出る	○電源スイッチが「同調」側に入っていないか	○使用しないときは、電源スイッチを「切」側に入れる。「同調」にしておくと、室内のエアコンの風や室外の風などの影響を受けて酸素が勝手に出る場合があります
酸素ボンベ内の酸素がすぐ無くなってしまう	○酸素ボンベへの取付部から酸素が漏れていないか	○「酸素の漏れを確かめる」で漏れを確認し、「酸素ボンベと接続する」を参照し、接続し直す
	○接続ポイントなどからの漏れはないか	
	○電源スイッチが「連続」側に入っていないか	○電源スイッチを「同調」側に入れる
酸素ボンベから外せない	○酸素ボンベのバルブが開いていないか	○バルブをゆっくり閉め、電源スイッチを「切」又は「連続」側に入れ、残ガスを放出する
	○電源スイッチが「同調」側に入っていないか	○電源スイッチを「切」又は「連続」側に入れ、残ガスを放出する
	○電池切れになっていないか	○電池を交換し電源を再投入後、電源スイッチを「切」又は「連続」側に入れ、残ガスを放出する
本器のデータが遠隔システムに反映されていない	○ディップスイッチの設定がオフになっていないか	○ディップスイッチをオンにする

消耗部品／推奨部品

部品名称	商品コード
接続チューブ（Φ6×400mm）	3321018
アトム酸素鼻孔カニューラOX-20L（20本）	3317301
アトム酸素鼻孔カニューラOX-20M（20本）	3317302
アトム酸素鼻孔カニューラOX-20S（20本）	3317303
FGプラスY式ボドックシール（Φ17）	315128
ヨークガイド／FG+Y・MPR20・酸歩自由	3352031

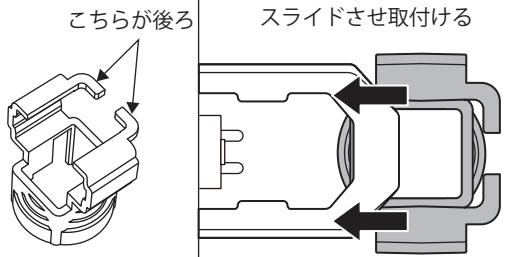
※商品コード及び商品名称は予告なく変更する可能性がございます。
必要に応じて当社指定販売店、または当社営業所にご依頼ください。

⚠警告

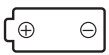
- ●部品交換は当社純正部品とご指定ください。
- ●部品交換は当社指定販売店、または当社営業所にご依頼ください。
- ●不完全な修理、部品の交換は危険です。

ヨークガイドの使用方法

ヨークガイドは、Y形調整器を酸素ボンベに容易に取り付ける為の推奨部品です。
取付ハンドルを取り外してから、ヨーク部分に挿入してください。（爪の向きに注意してください。）



本体に表示されている記号について

記号	意　味	内　容
	B形装着部	電撃に対する保護の程度に依る装着部の分類がB形であることを示します。
	注意	本書（取り扱い説明書）を必ずお読みになり、正しくご使用してください。
	単３形 アルカリ乾電池	本器の電源は、単３形アルカリ乾電池です。

保証

保証期間（あお酸歩セパ）
当製品の保証期間は、お買い求めの日から１年間です。

保証規定
1. 取扱説明書および、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態のもとで故障した場合、当社がその故障箇所を無償修理いたします。
2. 保証期間に故障して無償修理を受ける場合は、本製品をご持参の上保証書を提示し、当社へ依頼してください。

保証期間内でも次の場合は有償修理になります
1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書に保証期間、形式、品名、器体番号の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
3. お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取扱いが適正でないため生じた故障、損傷の場合。
4. お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
5. 火災、塩害、地震、落雷および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧、または規定以外の圧力を加えた場合の外部要因に起因する故障および損傷。
6. あお酸歩セパに接続している当社指定以外の機器、および消耗品に起因する故障および損傷。
7. 正常なご使用方法でも消耗品が自然消耗、劣化した場合。

廃棄について

本器（付属品、別売り品を含む）を廃棄する場合は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

保守点検チェックシート

項　目	確　認　内　容
チューブ接続口	本体との接続部に緩みがなく、確実に袋ナットで接続チューブを固定できること。
酸素出口	本体との接続部に緩みがなく、確実にカニューラを固定できること。
ダイヤル	流量設定が確実にでき、ダイヤルを回した時にクリック感があること。表示が明瞭なこと。 流量 0.5 と 7 の間でストッパーがきくこと。
残圧計	Y形調整器の残圧計に針上がりがないこと。変形、破損漏れ等の異常がないか確認すること。
外観	各部に割れや、破損、緩みはないか確認すること。
操作性	酸素ボンベへの着脱がスムーズに行えること。
気密性	酸素ボンベに接続→電源スイッチを「切」に設定→酸素ボンベのバルブをゆっくり全開にした後閉じる→Y形調整器の残圧計の針が下がらないことを確認すること。
酸素放出	**同調設定**：酸素出口にカニューラを取り付け呼吸をし、各設定で酸素の放出があるか確認すること。 **連続設定**：設定した時に、連続的に酸素が供給されるか確認すること。
LED	電源スイッチ「同調」にして、吸気が 2 色（赤 → 緑）電池切れランプが 3 色（赤 → 緑 → 黄）
アラーム	電源スイッチ「同調」にして 30 秒以上吸気しないと、吸気ランプが赤点滅し、アラームがなること。

※各部の名称は<P６>を参照してください。
※使用後６ヵ月もしくは、中古販売や賃貸の前に必ず保守点検内容を確認してください。
※異常が確認できた場合には、最寄りの取扱店まで点検をご依頼ください。
※各流量設定値での流量精度確認を、<１年に１回>当社にご依頼頂くことをお薦めします。

人とともに呼吸する。
KOIKE MEDICAL

発売元：株式会社 小池メディカル
本社■〒132-0031 東京都江戸川区松島 1-24-8
TEL：03-5662-6605（代）
http: //www.koike-medical.co.jp/

製造販売元
株式会社 群馬コイケ 〒372-0855 群馬県伊勢崎市長沼町222-1

■お問い合わせは

2021.7